

地域団体の紹介

松浪地区地域包括支援センターさざなみ

管理責任者 赤坂 真生

「いつも遠くで見守りながら、困った時は寄り添う。よせてはかえす波のように…」

身近な福祉の相談窓口として、地域の皆さまの近くで寄り添う存在になりたい。

平成25年10月に浜竹に開所し、平成27年4月の松浪コミュニティセンター開館と同時に、現在の同センター1階へ移転しました。「コミセンに来たついでに寄ったわ」という嬉しい声もありますが、「カフェには来たことがあったけれど、ここにあったのは知らなかった」と言われることもあり、まだまだ周知されていないことを実感しています。

高齢者に限らず、子供でも大人でも障害のある方も、各ご家庭の様々な困りごとについて、「まずは、さざなみへ行って相談してみよう」と思っただけの存在になれるよう、日々業務にあたっております。お気軽にお立ち寄り下さい。



まちぢから協議会 公募委員として

松浪地区まちぢから協議会 公募委員 加藤 敦子

私は、公募委員として昨年度より参加させて頂いています。仕事は訪問介護の事業所を開いて、高齢者のお宅を訪問し、介護を必要とされる方々がご自宅で暮らせるようお手伝いをしています。この仕事は、介護保険制度に基づいて法令順守を厳しく問われるものです。利用される方は安心だと思いますが、ヘルパーがしてはいけない事も細かく決められていて、頼まれても制度上できないことを説明して納得して頂くのが難しい時もあります。

私はこのような仕事をしていますが、家には既に仕事を辞めた夫がいます。庭に甘夏がなると、通りがかりの小学生からお年寄りにまで差し上げては仲良しになったり、近所のお年寄りのパソコンを見てあげたり、近所のママさんが、鍵が見つからなくてお子さんと家に入れないで困っていると、お助けしようとしたりと、いつの間にか私よりも近所の皆さんと顔見知りになっていました。そんな夫を見ていると、ほんわかと自由で羨ましく感じました。そして、顔の見える関係って大切だなと思いました。

公募委員になる前の私は、自治会長さんの顔も存じ上げなかったのですが、今はこれだけ多くの方が市民自治のまちぢから協議会に参加して、意見を聞かせたり協力したりして、絆ができていくことを知りました。

顔の見える関係を大切にして、これから残りの任期を自分の持っているものを少しでも多くお役に立てられたらと思います。

巨樹巡り

松浪地区まちぢから協議会 広報委員 北村 嘉秀

今回、「まつなみだより」に巨樹巡りについて書いてほしいとの依頼がありました。

自治会活動をやめてから巨樹巡りや近代遺産巡りをするようになりましたが、巨樹巡りを初めて1年足らずで、神奈川県、北海道、長野県、千葉県の巨樹40本足らずを巡っただけです。巨樹の案内本を読むと、とても自分は巨樹巡りを書くのはあつかましいと判明しました。

例えば、巨樹の定義（地面1.3m高さでの幹まわりが3m以上）や日本にある巨樹の本数（確認された本数が約56,000本、未確認推定本数が約68,000本）などの基本知識を初めて知りました。



なぜ巨樹巡りをするのか…それは、太い幹が上へ横へと枝を伸ばしている姿、ご

つごつした荒れた肌等を見ると、その大きさ、自然の脅威に耐えて長生きをしたことの凄さに圧倒されます。

私のわずかの巨樹巡りで一番感動した巨樹は、北海道豊頃町の「はるにれの木」です。

十勝川沿いにある豊頃町随一の観光名所であり、推定樹齢は約140年。

広い河原の草原に2本の木が、9月のさわやかな風の中に立っていました。

最後に茅ヶ崎市内の大きな木について、市景観みどり課に問い合わせたところ、県立茅ヶ崎市里山公園内の「ヤマトアオダモ」を教えてくださいました。孟宗竹林の中にある大きな木でした。皆様もぜひ見に行ってください。

最後に茅ヶ崎市内の大きな木について、市景観みどり課に問い合わせたところ、県立茅ヶ崎市里山公園内の「ヤマトアオダモ」を教えてくださいました。孟宗竹林の中にある大きな木でした。皆様もぜひ見に行ってください。



平成30年9月15日発行(第13号)
発行：松浪地区まちぢから協議会
HP：https://matunami.jimdo.com/
印刷：(有) 仲手川印刷



松浪地区 盆踊り大会・模擬店

松浪地区体育振興会 副会長 新倉 哲也

盆踊り

年々暑さが身体に堪えるように感じるのは歳のせいだけではないようです。毎年のように異常気象が起こるのは海水温の上昇が影響していると言われていいます。徐々に亜熱帯化していく日本ですが、松浪地区は今年も元気に恒例の盆踊り大会を行いました。

突然の雨にもめげず、住民の皆様には楽しく過ごせていただけたようです。河野太郎外務大臣(地元選出議員)の突然の来訪があり、驚きながらも喜ばれたのではないのでしょうか。何はともあれ朝の9時からやぐらを設置し、夜の9時には解体をする。毎年の事ですが一夜の宴のためにお力添えをしてくださる住民の皆様感謝いたします。

住民一人一人で作るお祭りを長く続けて行けるようこれからも体育振興会は縁の下の力持ちでいたいと思います。



模擬店

松浪小学校PTA 会長 齋木小里絵

盆踊り大会当日、松浪小学校のクーラーの無い家庭科室では、担当自治会の方々の音頭で、ダイナミックな焼きそばの下準備、そして、唐揚げ・フライドポテト・チュロスが次々と揚げられていきました。汗をかきつつ、大勢でわいわいと作業を進めていると、空模様が怪しいので販売時間を繰り上げるとの知らせが。慌ただしく、できたものから次々と校庭の模擬店へと運ばれていきました。

しばらくすると雨が降り出し、お客さんの出足が心配されましたが、幸い徐々に雨脚は弱まり、続々と集まってくる大人や子どもたちの姿が見られました。雨は弱まりましたが、家庭科室から運ばれていく揚げものの勢いは止まらないままに、どうやら順調に売れていったようです。

校庭では、焼きそば・唐揚げ・ポテト・チュロスの他にも、ポップコーン・かき氷・飲みもの・サイリウム・当てくじなどの模擬店が並び、お目当ての店を楽しみにしてやってきたお客さんで賑わいました。地域全体が盛り上がり、雨にも負けない心意気を感じるひとときでした。



平成30年度 松浪地区まちぢから協議会関係行事予定一覧

期日	行事	場所	時間	主催等
10月 7日(日)	地区市民体育祭	松浪小学校	9:00	体育振興会
10月14日(日)	福祉ふれあいまつり	松浪小学校	10:00	地区社協
11月24日(土)	まちぢから協議会委員研修会	市本庁舎4階会議室	-	市
1月12日(土)	賀詞交歓会	松浪コミュニティセンター	17:00	まちぢから協議会
2月 2日(土)	ふれあいネットワーク交流会	松浪コミュニティセンター	13:00	地区社協
2月20日(水)	視察研修	未定	-	まちぢから協議会

市民安全部会からのお知らせ(詐欺被害に遭わないように!)

最も狙われているのは70代・80代の女性です。

茅ヶ崎警察署の発表によると昨年市内での振り込み詐欺の発生は98件、被害額は1億6,300万円余りで、手口別にみるとオレオレ詐欺が78件、架空詐欺が6件、還付金詐欺が14件でした。このうち松浪地区では7件(内未遂1件)発生しております。

市民安全部では、警察や市役所の安全対策課の協力を得て、松浪地区の住民に対し被害防止のチラシを配布するとともに、詐欺被害防止講演会等を度々実施し、被害の防止を呼び掛けてきました。今年は昨年同時期に比べると市内での発生件数は若干減少しているのですが、松浪地区ではすでに被害が前年と並ぶ7件となっています。

最近多発しているのは、

①警察官を名乗り ②大手デパートを名乗り ③銀行協会を名乗り 「あなたのカードが不正利用されている」等と言って自宅にカードを受け取りにきて暗証番号を聞き出し、お金を引き出す手口です。警察官、銀行関係者、百貨店社員がキャッシュカードを受け取りに来たり、暗証番号を聞くことはありません。

また、松浪地区では、ハガキにて「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」「総合消費料金未納分訴訟

最終通知書」と題し、契約不履行により民事訴訟の裁判が提訴されあなたの給料や財産が差し押さえられる恐れがあるので、訴訟期日までに取り下げ相談に応じると印字され、これを読んで不安を感じた受取人がハガキにある相談窓口で電話すると言葉巧みに和解を勧められ、和解名目でお金を騙し取られるというもので、この種のハガキが出回っていますので注意してください。

各自治会では警察からの防犯ニュースを回覧し、詐欺被害に遭わないよう注意を喚起しているところです。

【被害に遭わないための具体的な対策として】

- ・留守番電話にする
- ・自動録音機を設置する
- ・本人に間違いがないか確認
- ・お金の話が出たら一人で決める家族や警察に相談する
- ・お金は家族の顔を見て、直接渡す



地域団体の紹介

浜竹二丁目自治会

浜竹二丁目自治会 会長 前田 積

浜竹二丁目自治会には、毎年行われる行事があります。町内清掃・バス旅行・地引網など開催し、地域のコミュニケーションを図り、活性化に努めています。

「町内清掃」は朝6:30頃集合し、町内を3班に分担して清掃します。町内がきれいになり、せいせいた気持ちになった後、冷たい飲み物で喉を潤して解散します。

自治会懇親「バス旅行」は春か秋に行き、名のある所を見学ランチを楽しみます。帰りは和気あいの雰囲気の中、ビンゴゲームを楽しみながら帰ってきます。

「地引網」は7月終わりに行き、会員無料で焼きそば、天ぷら、イカ焼き、スイカ割り、ビンゴゲームを楽しみます。海が荒れて地引網ができなくても、M宅の庭先で100名近く集いバーベキュー大会を行っています。

浜竹二丁目の自治会は、昭和30年後半に<新浜竹>として発足し、昭和50年終わり頃<浜竹二丁目自治会>と称し、現在にいたります。初めの頃はどのくらいの世帯数があったかわかりませんが、現在は500数件の世帯で、自治会会員の世帯数は400世帯近くです。

浜竹二丁目は、湘南地区として通勤の便利さ、海の好きな若者達の住居に最適とされています。【安心】【安全】【住みやすい街】として活性化を図り、地域の皆さんが交流できる自治会にしていきたいです。

浜竹三丁目自治会

浜竹三丁目自治会 会長 杉本 誠

浜竹三丁目自治会は辻堂駅西口徒歩15分圏内に位置し、人口約1,700名、620世帯、35の組で構成されております。やや高齢化率が高く、一戸建て住宅が多く住み易い反面、災害時の火災のリスクが高いと指摘されています。

この様な状況の中、三丁目の課題は住民同士顔なじみになり互助、自助の雰囲気醸成であります。その為に、年4回の組長会議に始まり、7月末の納涼祭、1月の餅つき大会、年2回の町内清掃、体育祭、防災リーダーの養成等を通して住民同士の交流を図っております。

特に納涼祭は、全組長の協力をいただき盛大に開催され、3丁目公園に500人もの住民が集まり交流を図っております。又、防災に関しても、防災リーダー44名と非常に沢山の方になっていただき、防災意識の維持、アップに繋がっていると確信しております。

最後にもう一つの課題は、三丁目自治会運営を担う次世代の参加です。現役員も順調に高齢化になっており次世代の参加が急がれます。紙面をお借りし皆様の参加をお願い致します。



松浪地区の公共・団体主体の子育て支援施設のご紹介特集(vol.1)

松浪地区社協子育てひろば

松浪地区社会福祉協議会の児童福祉部では、毎月第1・第3火曜日の10時~12時、松浪自治会館で「子育てひろば」を開催しています。0歳から4歳くらいまでのお子様と保護者の方のためのフリースペースです。

広い室内で、すべり台や小さなトランポリン、おままごとセットやプラレールなどを用意してお待ちしています。特に人気が高いのが乗用玩具! 時には取り合いになることもあります。お友達と譲り合ったり、順番を待ったりする練習にもなっているようです。

小さな赤ちゃんが寝られるスペースも用意していますよ。毎年クリスマスには、プレゼントを抱えたサンタさんもやってきます! ぜひ、遊びに来てくださいね!



浜竹子育て支援センターのびのび

のびのびは、茅ヶ崎市が運営する、市内に4つある子育て支援センターの一つです。JR辻堂駅西口徒歩3分。セブンイレブン横の道奥にあります。

妊娠中の方、生後1か月過ぎの赤ちゃんから学校に入るまでのお子さんと保護者の方々が、ちょっとした相談や、育児の不安や離乳食の相談、お友達作り、子育てに関わる情報収集など、毎年1万人近く来所されています。

また、ママ達が普段できない事を楽しんで頂くイベントも企画しています。10時から15時の時間はフリースペースで、いつも賑やかな憩いの場となっています。

一度、遊びにいらっやいませんか? 小・中学生を持つ親御さんの悩み相談もOKです。



松浪コミセン内子ども家・なみっこ

なみっこは、乳幼児から小学生までの子ども達が、安心して遊べる空間を提供しています。平日の午前中は小さいお子さんとお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど。午後3時ごろから小学生がたくさん遊びに来ます。土日はお父さんの姿も多く見られます。

夏休みが始まると、開始時間すぐに、幼児から小学生たちで、なみっこは大賑わいです。多い日は、大人も含めて100名以上の利用があります。あまり広いスペースではないものの、異年齢の子ども達がお互いに譲りあって思い思いの遊びをして楽しんでいます。なかでも塗絵と卓球が人気です。

また、月に一度、松浪開き読みの会(松浪小で活動中)の方々の協力により、幼児対象のおはなし会を開催しています。わらべ歌や手遊びなど季節にあった絵本を開き読みして頂き、毎回楽しみにしている親子さんもいらっやいます。

今年の夏は猛暑日が続いています。子ども達の体調を第一に目を配っていきたいと思います。

